

令和3年度大津町子ども・子育て会議 議事録

- 開催日時 令和3年10月14日(木) 9:00～
- 会場 大津町役場1階「多目的室」
- 出席委員 佐方委員(会長) 関委員(副会長) 五十嵐委員 江口委員
太田委員 斎藤委員 坂本委員 高山委員 田中委員 備海委員
堀委員 村上委員 元村委員 (計13名)
- 欠席委員 藤原委員 武藤委員
- 傍聴者 1名
- 事務局 矢野健康福祉部長、大隈子育て支援課長、宮内母子保健係長、
郷子育て支援課審議員兼入園支援係長、下田子育て支援係長、
木瀬入園支援係主事
- 次第
 1. 開会
 2. 委嘱状交付
 3. 会長の選任
会長に佐方委員を選任
 4. 議題
 - (1) 子ども・子育て支援事業の状況について
 - (2) 公立保育等再編検討委員会の設置について
 - (3) 大津保育園分園の本園統合について
 - (4) その他
 5. 閉会

■ 議題

(1) 子ども・子育て支援事業の状況について

【事務局より説明】 別紙 資料1

〔会 長〕 何か質問はありませんか。

〔委 員〕資料の5ページの事業の実績のところ、コロナの影響が結構あったと思うが、支援が必要な方に、施設の制限があったり、利用の人数が少なくなった場合は受入れられなかったりして、支援が届かなかったというお声とかが、もし課題として聞かれたケースがあれば教えてください。

〔事務局〕コロナの影響はあっております。まず保育園関係の入園を控える状況があるかと思えます。病後児保育については、定員4名のところを、今は部屋が2つしかない、1人1部屋として2名にしています。以前の定員4名の時は、キャンセル待ちがあっていましたが、今は、キャンセル待ちはなくなったところ。病児保育を始めてから、ちょっと増えてはきているところです。社会全体も何かあれば家で子どもを見れるような、仕事を休みやすくなっているとか、育児休業もとりにやすくなったところではないかと実感しているところです。

施設については子育て支援センターが、以前は、誰でもいつでも来ていいよというところでしたが、時間制限や人数制限をさせていただいたところ。

感染者が増えている状況では、受入人数を少なくして、少しよくなってきたらちょっと増やして、世帯数で管理できるようにしています。そこがやはりいつでも気軽に遊びに行けなくなったという声をいただいているところです。

私からは以上ですが、事業者の皆さんも来られているので、そういった声がいただければありがたいです。

〔委 員〕つどいの広場を実施していますが、やはりママ友づくりは、好きな時に来てママ友たちと相談し合う場所ですが、今は、気軽に来ることが出来ない状況です。

〔委 員〕なかなか従来どおりにはいかないところがあり、子育て中の親御さんの声では、色んなことをちょっと相談することが対面では出来ないというところについて、皆さん悩みを抱えておられる気がします。コロナの状況次第で少しずつやっていけたらと思います。皆さん精神的にしんどいところはあると思います。

〔委 員〕コロナの影響としては、資料の5ページでもありますが、一時保育が、日頃、保育園に通っている子どもと違うので、ちょっと受入れが難しいということで、実績も少なくなっているかと思えます。あと、コロナの対応としては、役場の担当の方々

と一緒に登園自粛を適宜かけさせていただいて、クラスターなどもそれほど大きくならずに、解決出来たりしています。

〔会 長〕他に質問は、ありませんか。なければ次の議題に移ります。

(2) 公立保育等再編検討委員会の設置について

【事務局より説明】 別紙 資料2

〔会 長〕 何か質問はありませんか。

〔委 員〕私は、息子を陣内幼稚園に通わせた経緯がありまして、この話はちょっと心苦しいなと思いながら聞いていました。長男が年長の時に県外から大津町に引っ越して来ました。ちょうど子どもの人口が多い時で、11月ぐらいに慌てて問合せをしたところ、どこも見つからず、大津幼稚園に電話をしたところ陣内幼稚園ならと紹介していただき入園しました。その当時は、待機児童が多くてなかなか入れず困っていると入園式でも聞いて、大津町は、子どもの数が多いという印象でした。年少、年中までは、福岡の私立の幼稚園に通っていきまして、すごく教育が整っているとなあと思いながら、公立幼稚園について全然わからないまま入園させたところですが、子ども達の表情がとても明るくなって子どもにとっては、すごくいい環境で子育てができたと感じています。下の子どもそちらのほうに入園し、本当に伸び伸びと体をすごく使って、地域の方たちとも触れ合いながら、この時期しか体験出来ないことを陣内幼稚園で学ばせていただいたと感じていました。4年間通っていましたが、共働きをされている方たちがすごく増えたと実感していました。通わせるにあたって送迎バスもないので、時間に余裕がないと通わせるのは厳しいのではと思いました。私はその当時、時間に都合がつく仕事をしていたので、送迎時に、子どもは友達と遅くまで遊びながら、ママたちは、子育ての悩み相談をしたりして、すごくいい時間だったと思います。お母さんたちとの触れ合いがあっただけで今までは、積極的に人と交わる事をしてこなかったけど、交わる事の楽しさを私自身感じて、この場に出席するように、私自身も変わったと感じています。公立幼稚園の良さを残して欲しいと思い、コロナ禍でママ同士が集まって話をする場所がないので、何かいい形で、継続出来たらそれで救われる方たちがいるのかなというふうに感じました。

〔会 長〕大変貴重なご意見をありがとうございます。公立保育等の在り方を検討していくこととなりますので、事務局にも声が届いたと思いますので受け止めさせていただきたいと思います。他にご質問などありませんでしょうか。それでは、議題の(3)に移ります。

(3) 大津保育園分園の本園統合について

【事務局より説明】別紙

〔事務局〕ここでお諮りしたいのが、大津保育園は、定員が全体としまして140から120になるため、20人減少ということになります。この受け皿につきましては、20人減少でございますが、町内の幼稚園のほうで、来年4月から認定こども園の方に移行して、0歳から2歳児が30人増員の予定でございますので、最終的には、4月からは10人増となる予定でございます。大津保育園の定員に関しましてお諮りしたいと思います。

〔会 長〕ただいま事務局から定員についてお諮りがあった所です。何かご質問がありましたらお願いします。

〔委 員〕これからの話になるかと思いますが、今、通っている在園児の保護者の方にもしっかりお話をさせていただいて、保護者と子どもに不利益がないように進めてもらえればと思います。

〔事務局〕はい、そのようにして、在園児には、影響が出ないようにしたいと思います。

〔会 長〕質問、ご意見等無いようですので、ただいま事務局からお諮りしたいと定員の話がありましたが、定員についてご承認いただける方は挙手をお願いします。皆さんご承認ということでご了解いただきましたので、この件につきましては、事務局案のとおりとさせていただきます。予定していた議題は以上となりますが、その他ということでは何かありますか。

(3) その他

〔委 員〕NPOこどもサポートみんなのおうちの江口です。本日は、この会議が1回目ということですが、2点ほど質問があります。

1つ目が、先月から「子どもの居場所づくり事業」を大津町とも協定を結ばせていただき、実施しています。小学生、中学生、高校生、いわゆる子どもの居場所というところで動きをしているところですが、この事業について、子ども・子育て会議の中でいろんな話を上げて構わないものかというところをお聞きしたいです。

もう一つが、事業計画の85ページに条例がございます。この第5条に、会長及び副会長各1人置くとなっておりますが、副会長については今までどおりでしょうか。

〔事務局〕はい、まず、子どもの居場所事業につきましては、会議の中でお話を一緒にしていければと思っております。

副会長につきましては、すみません委員会の任期が今2年目に入ったところなので、継続して関先生の方にというところで、私が申し上げ損ねていました。申し訳ありませんでした。

〔会 長〕 その他、皆さんから何かありましたらお願いします。

〔委 員〕 「大津町子育て世代包括支援センター」について、先ほどのお話では乳幼児健診の際に保護者の方に紹介しているということでしたが、保育所や幼稚園を通しての紹介はあるのでしょうか。

〔事務局〕 ご質問ありがとうございます。現状では、母子手帳交付時、妊娠期の最初の窓口でまず母子手帳交付で全員お会いできますので、そこでお渡ししています。また、乳児健診時、町広報の10月号に掲載したり、町ホームページでも掲載をさせていただいております。今後、町内の保育園、幼稚園についても、配布していきたいと思っております。

〔委 員〕 すごくいい取組だと思いますので、広く周知していただければと思います。

〔会 長〕 他にありませんでしょうか。

〔委 員〕 コロナ禍というのが、すごく影響が大きいと感じています。現在、私には、幼児は居ませんが子ども達は、日頃からすごく我慢したり、恐れていたっているのを感じます。コロナの前まで、学童スポーツクラブにお世話になっており、楽しんで活動していましたが、やはり接触するのが怖いと言い始めて2人とも参加できなくなってしまいました。何か子ども達がすごく追い詰められているんだろうと、日々感じています。私たち親世代も、親同士のコミュニケーションも取りづらい状況もあって相談する場所がやっぱり少なくなっていると感じます。子育てはすごく長いと感じており、幼少期は、私たちも余裕はなく子育てをしていました。学年が上がってくるにつれて、それぞれの悩みに長くつき合っていかなければならなくて、何かそういう悩みを解決できる仕組みがもし町として何かあれば、利用させていただいたりするとすごくありがたいと感じました。

〔会 長〕 ありがとうございます。親世代の相談場所があればというご意見だったかと思えます。他にありませんか。

〔事務局〕 お知らせになるかと思いますが、この会議がもともと毎年の進捗状況を確認したり、評価を行う会議でございます。その中で、就学前人口が当初の計画よりちょっと減っているということ、またそれに対する対応策がやはり変わってきているということで、今後、計画と実績との乖離が見られるため、来年度に、計画の見直しを行いたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。